

## 東 北 方 面

### 東周院月見道路竣成

宮城縣桃生郡鷹來村地方は電鐵開通後陸上交通の樞要地となつたが同地から石巻前谷地、佳景山方面方面への連絡は、小松、大鹽を迂回し恰かも鍋の鉉の如き大廻りの無駄道をせねばならぬので、同地方では直線道路の開通を切望して居つたのであるが這回鷹來、赤井、廣淵三箇村が協力して道路築造に當り數箇の橋梁も架設して直線道路が見事に竣成したので同地では非常に歡喜して居る。

### 遠刈田線第二期工事

刈田郡福岡村の匡救土木事業村道遠刈田白石線改築工事は總經費十一萬三千五十四圓の豫算で昨年十月三十日起工、同年十二月末第一期工事を終つたが、右區間は同村

## 北 海 道 方 面

### 札幌工事精勤者表彰

昭和七年度施行の札幌小樽間國道築造工事は去月二十五日を以て豫定の工事を完了したが、小樽郡に於ては本工事に各村各字から出勞した村民中特に黎明より薄暮に至る迄精勵恪勤克く本工事の達成に力めたる左記二十一名の表彰式を去る二十九日午後三時より朝里役場で舉行した。定刻朝里村長開通式を宣し、一同起立し君が代を合唱の後、表彰狀並に記念品の授與及總代(張權村)村岡三郎の謝辭ありて、三時半一旦

出口より鍋割に至る三千米で、その土地柄は野鹿と蛇ばかりといふほどの深山で難工を極め就役延人員一萬七千七百八十五人を要したのであるが此の第二期工事は鍋割より福岡役場附近國道に至る約八キロ、六萬五千圓で本年末迄に完成の豫定である、第一期並に第二期工事を合すれば遠刈田白石間全里程の四分の三が四間隔の道路となる譯で残る四分の一も年度内に完成するので兩地間が四キロも短縮せられる一方不忘山麓の森林富源も漸次開發され同地方の受ける恩恵は莫大なものであらう。

### 角田白石間縣道工事

改修中の縣道角田、白石線中、角田町地内は角田町矢神通北端を従來の横倉道路に接續せしむるため西新町街路と前後した新たな併行道路を工事中で竣成眼前に迫つて居る、將來西根村を經由して白石町に至ると、北郷村開墾大耕土を經由して大河原町に至ると、其の利用價值多き路線で、一方

角田町を中心として海岸線中村町に至る省線バスの豫定幹線としても亦最も囑望されて居る路線で將來の發展に少なからず役立つべきを期待し既に數種の活用方法に就て擬議されて居る。

### 匡救事業概ね良好

栗原郡下に於ける昭和七年度の匡救土木事業は縣道築館新田停車場前線を殘して全部完成したが同線工事も九分通り進捗して居るから開通の喜こびも眼前に迫まつて居る、同線は栗原郡築館町より同郡玉澤町を経て隣接登米郡の新田村停車場前に至る栗原、登米の兩郡を連繫する重要路線なので國庫補助により二萬一千圓の工費で延長五千八百キロを改修したのであるが、町村道改修を請負つた町村では多くは勞役費等が豫定より超過したので其の赤字に就て對策を講じて居る處もあり、また反對に殘餘を生じたので豫定以上即ち最初の設計にはなかつた混凝土水抜き測溝などを完成して隣

接町から羨まれて居るものもある、現に澤邊村の匡救土木工事中、村道姉齒澤邊線の改修では、村民が勿體ないとして朝は夙くより夜に入るまで真心込めて勞務に従事したので豫定より約一千圓の節約を見るに至り之を設計外ながら附加工事として施行した次第であるが、各村では之れに刺戟され八年度には良好な成績を挙げやうと競争の有様になつて居る由である。

## 北陸方面

### 金澤の國道改良工事

昭和八年度時局匡救土木事業中、直轄國道改良費は事業費一千五百八十七萬圓(内譯國費、三分二補助)一千七十四萬圓、地方費五百十三萬圓)であるが、十一號國道中石川縣金澤市下大桶町より山ノ上町三丁目に至る間を二十萬圓で改良することになつた。

## 親不知國道改修準備

數年來殆んど廢道の如く放置の状態になり同地方から幾度か改修促進を叫ばれて居る西頸城郡青梅町市振間二里二十町に亘る親不知國道も本年度より三ヶ年計畫、工費二百萬圓で大改修を加ふる事となり、本年度は二十萬圓で實測を遂げ、割當經費の剩餘は直ちに之を工事に振り向くる豫定である。現在の親不知道路は土砂雪崩や岩石崩落等甚だしく全く道路敷地境界等不明の箇所尠ならず此兩三年は車行は勿論人馬も交通殆んど不能の状態になつて居るのであるが此の改修が出来れば富山新潟の臨海交通に非常な利便を齎らすであらう。

## 長岡の道路整理週

雪融け後の長岡市及び其近郊道路の不快きは實に名狀し難く、不潔な泥汚中を歩くと同様なので長岡市では警察側と協力し四月廿日より同二十六日に至る一週間を道路

整理週間とし街路上の不潔を一掃し横町其他の泥濘等をも整理することとして十八日早朝から「道路を綺麗に致しませう」と印刷した宣傳ビラ三萬枚を配付し各種學校生徒も各其校所在地附近を清整し各生組長は互に連絡をとりて年四回之を行ふ申合せをした。

## 東海方面

### 大涌谷自動車道路

湯ヶ原自動車會社は其資本金を十萬圓とし増資中の三萬圓を湯ヶ原、箱根町間の縣道、箱根眞鶴線の改修地元負擔額に充當しこの路線の運轉は同社、富士箱根、駿豆鐵道の三社競願となつて居るが、駿豆は熱海の湖間の自動車専用路を有する關係上、湯ヶ原自動車との提携を策し兩社間に合併の下相談が進められて居る一方駿豆の計畫工事中なる大涌谷越自動車専用路も着々進

捗して居る。

### 大島ドライブ道路

常夏の國、大島は曩に内務省から綠地帯に指定され、政府補助の下に波浮港を修築し、次で岡田港の改修にかゝつて居るが之れが完成すると同時に元村波浮岡田を連絡する大島周リドライブ道路と三原山頂に至る觀光道路を計畫中である、尙ほ東京府の後援で都人士行樂の慰安設備として椰子の葉茂げる眺望よき砂丘上に温泉を拓き歡樂境としての施設をも併せ進む由である。

### 名古屋常滑線擴築

愛知縣知多郡八幡町小根より横須賀町釜父に至る縣道名古屋常滑線の擴築工事は着々其の準備整ひ、障害物の取除等も大いに進捗したので、八幡町、横須賀町の共同主催で去る十一月午前十時縣土木部長代理として木村技師臨席の下に盛んなる起工式を舉行し、終つて有志百餘名は八幡町松月に

懇親會を催し午後八時和氣霧々裡に散會した。

### 明らかな犬山線工事

工費十餘萬の名古屋犬山線縣道大改修は其の竣工期日も愈々切迫し晝夜兼行で日々五百名内外の人力を使用して居るので昨今犬山町及其附近の失業者は競つて之れに就勞し、一日の收入一圓、晝夜稼ぐ者は二圓となるので、此の處全く一陽來復の觀がある、米國金融界恐慌の影響を蒙る事多かつた當地方も、こゝもと勞働方面は引つ張りの有様で斷然ほがらかさが溢て居る。

## 中國方面

### 産業と遊覽の赤穂道

赤穂郡那波町から鷹取峠を蜿蜒と曲り屈ねつて赤穂に至る縣道は、その交通量近時非常に増大せるにも拘らず天下の難道とし

て有名であるが、スピード經濟の現代、何れの方面より見ても甚だ不適當なので、赤穂郡元那波所に相生町、新濱町、阪越町、鹽谷町、尾崎村、赤穂町、那波町等の各町村長集合協議を凝らしつゝあつたが、今回各町村連合の下に改修促進方を縣當局に陳情することになつた、省線那波驛より乗降する貨客並に相生港、坂越港、新濱港、赤穂港等の海陸連絡の貨客は悉くこの道路に集中し、赤穂義士の棟梁たりし大石神社の參拜道としても、また沿岸赤穂御崎より坂越灣、相生灣等の景勝遊覽道としても三十年前に築造した鷹取峠の如き僅か二間に足らぬものでは政府筋の所謂産業の開發等到底不可能であるといふに決し先づ第一期工事として相生、那波間の海岸道路を改修し次で阪越——新濱へと工事を進むる計畫である。

### 姫路の十路線擴築

大姫路を目標に近代都市的施設に向つて

着々歩を進めつてゐる姫路市は八年度豫算に於て臨時部土木費七萬八千圓を計上して左記十路線の擴築新設を實施する豫定である、(イ)驛前御殿前の道路擴築、(ロ)東雲町一丁目船場校惠町筋南北線新設、(ハ)福澤町芝本東西線擴築、(ニ)山ノ井不動院北線擴築、(ホ)河間町八代間道路新設、(ヘ)大野町伊傳居間道路擴築、(ト)大野上大野橋より村入口迄擴築、(チ)五軒邸芥橋より竹田町に至る線擴築、(リ)南初室町より橋元町に至る線擴築及新設、(ヌ)東郷町より國道に至る縣新設等である。

### 松江の表玄関鋪裝

遊覽地松江の表玄関ともいふべき省線松江驛前のアスファルト鋪裝は多年の懸案であつたが漸やく實現するに至つた、僅か一千七百坪四千餘圓に過ぎなかつたが、最初鋪裝の計畫が現れてから茲に至るまで丁度十一年かゝつた課で、これからは觀光地松江として光彩愈々加わるであらう。

## 吉舎上下線道路竣成

失業救済事業として工事中であつた雙三郡吉舎町地内の吉舎上下線道路は直線美事に竣成した、該路線は昨年十月末から約五箇月を要し其敷地費八千九百圓、工事費一萬八百八十圓、延長一キロ二百二〇（四橋十五米）、幅員六米五である。

## 海田矢野間竣工

内務省直營の廣島吳間三二號新國道第一期工區たる海田市―矢野間の工事は竣工したので、十五日午前十一時新設國道に於て竣工式を舉行、引續き府中町、船越町、海田市、矢野町、坂村、大屋村の六箇町村聯合主催のもとに、今回海田市に移轉の内務省大阪土木出張所廣島國道改良事務所員の慰勞會を同事務所の廣庭で開催した。以前同事務所は廿日町の元佐伯郡役所内にあつて主任山内喜之助技師、富田屬外十五名で廣島宮島國道改修に當つて居たのであ

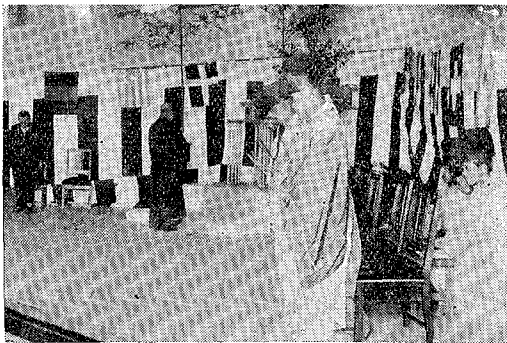
るが其竣成と共に本年度から廣島吳間三二號國道の築造に従事する爲め交通上にも執務上にも便利なる海田市の新築屋舎に移轉し六日から執務するに至つたのであるが從來は小車さへ往來出来なかつた處に幅員十米餘の鋪裝道路が貫通するの近き將來に迫まつて來た譯で陸と海と而して軍事上の重要な吳と廣島とを結びつける國家の重要交通路線たるのみならず、春の汐干狩に夏の遊泳に、秋のピクニック等に氣分のよい新國道に沿つて瀬戸内の磯邊は賑ふことであらう。

## 山口縣萩市外二十三町村合同土木祭執行

春光麗かにして櫻花散亂のこの際四月十日午後一時より萩市公會堂に於て萩市並阿武郡二十三箇町村合同の土木祭典を執行せらる、會場は紅白の鯨幕を張り廻らし春に相應しき裝飾をなし、大廣間上段にはいと壯麗なる祭壇を設け海の幸、山の幸を供

へらる。

參列者は關谷山口縣土木課長、杉山道路技師、橋川土木技師並に守田萩土木出張所主幹外縣官、山本、厚東兩縣會議員、土井



長課木土谷關と長市田豐るす讀朋を文祭

萩市會議長、在萩新聞記者、各市町村土木關係職員、各町村長等百二十余名なり。

定期に至るや壯麗なる奏樂裡に始まり齋主宮原縣社椿八幡宮社司以下萩市神職一同

着席、眞鍋阿武郡町村會長開式の辭あり次で修祓降神の式ありて後齋主祝詞奏上祭主豊田萩市長祭文奏上守田主幹祝詞奏上に次き齋主祭主玉串奉典山口縣知事代理關谷土木課長、縣會議員惣代厚東縣會議員來賓總代土井萩市會議長、阿武郡町村長並土木關係職員代表眞鍋阿武郡町村會長の玉串奉典ありて昇神の式を全く閉ち市川萩市助役の挨拶ありて直ちに宴會に移り白布に掩はれたる五列の大テーブル上には色彩麗はしき和洋草花多數を配列し窓より差し入る朗かなる春光はこの美しき草花に映へていやが上にも美しさと壯嚴さを増し一同神明の加護を禱りつゝ折詰瓶酒を開き盛大裡に午後三時散會したり。

祭 文

聖代ノ惠澤ト神明ノ加護ニ依リ昭和七年度ニ於ケル阿武郡二十三箇町村並萩市ノ匡救土木事業ハ概ネ無事完了セリ。或ハ叡ニ架シ崖ニ洞シ或ハ荆棘ヲ伐リ榛莽ヲ拓キ磯礫ノ草野ハ忽チ美田ト化シ蜿蜒タル鳥徑ハ

忽チ垣々タル大路トナリ産業上ニ交通上ニ地方福祉ノ増進セルコトノ偉大ナル洵ニ感喜ニ堪ヘサル所ナリ、但タ其ノ間少シク人畜ノ死傷ヲ出シ又多ク木石ノ倒壊ヲ見タルハ惻隱ノ情禁シ難キモノ無クシハアラス仍テ彼上市町村長相計リ茲ニ土木祭ヲ執行シ謝恩ノ赤誠ヲ披瀝スルト共ニ慰靈ノ微意ヲ表明シ兼ネテ昭和八年度ニ於ケル匡救事業ノ多幸ヲ祈ラムコトヲ欲ス

天神地祇翼クハ照鑑ヲ垂レ賜ハムコトヲ  
昭和八年四月十日  
萩市長從四位勳三等 豊田 勝藏

九州方面

山邊線の工事成る

豊前國下毛郡下郷村より森町に至る縣道山邊線は曩頃來工費二萬九百二十八圓を要して二千八百八十米を改修したが其間に在る山國川上流の河幅二十七米に懸る橋梁費

に就ては工費數千圓を要し之が捻出に憚むで居るのを聞いた東京在住の下郷出身九水の重役江藤甚三郎氏は土地及び三千圓を寄附して三月末竣成したので之を江藤橋と名命し、去る七日正午同橋畔で祝賀會を催し餅撒き草角力等の餘興があつて頗る賑つたが同橋架設費は五千五百圓を要した由である。

觀海寺溫泉道路竣工

別府市外石垣村の觀海寺、八幡間の道路竣工と櫻ヶ丘の公衆浴場新築落成とを兼ねた祝賀會は十五日午前十一時から觀海寺溫泉場で盛大に舉行された、知事代理、別府市長、石垣村長、朝日村長其他有志百餘名參列して型の如く行はれたが季候も好く眺望も灣西第一景と誇つて居る丈けに正午頃より見物がてらの群衆萬餘を算し餘興場の附近は身動きもならぬ盛況であつた。

大分西庄内村の美舉

豊後國大分郡西庄内村佐平治區と言へば至つて邊避の地であるが十年以來模範村として有名になつて居る、同區民は仕事は熱心に、酒と煙草は身體に害ありと讀本で教へられた通りを遵奉し、約束は堅たく、義理を知り、人情厚く、農事に勉勵し、青年男女を問はず華美を排斥し、志操堅固に克く質朴を守り、地獄に陥ちる者は尠なく大抵の者は皆極樂に往けること保證附きと他村から羨やまれて居るほどで、従つて富の程度も他から見ると拔群の成績であつて、曩に時局匡救土木事業で村役場から佐平治區を経て葛原に至る道路を開鑿した際、灌水地のため耕作地が狭少となるや、個人又は小組合をつくつて種々に開拓整理を行ひ或は灌漑水の不足を補ふ溜池の擴張改修等に義勇奉公の精神で出役し、出征軍人の遺族にして男子なき家よりは出役を斷り、また同様な家族小人数或は病人等ある家庭より出勞も謝して、實際家族多勢にて累問なき人々等奮勵して、村の爲め、軀ては身の

ため、家のため、大にしては國の爲めに、朝六時頃より夜も六時頃まで二週間の獻身的勞働に出役して見事に竣成せしめ、而して其の得たる賃金は之を四等分して其の一を國防獻金に、其の二を同村出身遣外軍人の家庭七十戸に、其三を道路橋梁維持修繕積立金に、其の四を各自の收入としたる如

き實に涙ぐまじき迄理路整然たる純忠至仁の行爲であつて堯舜の治世を思ふやうであるが、今後益々之れが爲めには佐藤區長や麻生村長も正義と仁道とを目標として努力する事を村民一同と共に盟かつたといふ。聞くだけでも誠に芳ばしく喜こばしい便りである。

省營バス北倉線に於ける道路の改修及分擔金

鐵道省は國有鐵道建設線の先行又は代行或は既設線の培養線となす目的(實は赤字填補の最大良策として)を以つて省營バスの經營を開始し、昭和五年十二月岡多線(岡崎、多治見、瀬戸、高藏寺間、三四軒)、翌六年五月三山線(三田尻、山口間、一七軒六分)、翌七年三月龜三線(龜山、三雲間、四二軒八分)、三雲、石部間七軒八分)等の省營バスは既に開業して相當の成績を擧げてある。尙鐵道省は第一次第二次の擴張計畫を發表して交通運輸史上一大變革を劃すと放言してあるが、省營バスは通常のバスに比較して大型なるため道路に與へる損傷は實に莫大なものであるから、道路管理者こそ迷惑至極である。従つて鐵道省は各府縣當局と協議して道路の改修に要する經費の一部を分擔することゝなつてゐる。因に本年一月に開通した省營バス北倉線(安房、北條、千倉間五二軒)に就て道路の改修に要した經費並に鐵道省に於て分擔した金額を示す次の通りである。

| 工事種別 | 金額     | 工事種別   | 金額     |
|------|--------|--------|--------|
| 用取   | 一四、一六四 | 盛土     | 二、六四〇  |
| 切取   | 一、五〇〇  | 側溝     | 三、九七八  |
| 擁壁   | 五八三    | 敷砂     | 六、四〇二  |
| 防護   | 五六二    | 敷利     | 一、四〇二  |
| 溝網   | 一、五五七  | 伏樋     | 一、五八一  |
| 合計   | 三二、〇〇七 | 鐵道省分擔金 | 一六、〇〇〇 |
|      |        |        | 一六、〇〇〇 |